令和７年度　江戸川区立春江小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・進んで学ぶ子　・じょうぶな子　・思いやりのある子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・笑顔とやる気とやさしさあふれる学校 ・主体的に学び、考え、行動できる子　　自分を大切にし、他を思いやることのできる子 ・子供のことを第一に考える教師　子供のよきモデルとなる教師　互いに協力し合い、認め合い、高め合う同僚性 の意識が高い教師
前年度までの本校の現状	成果 ・ベーシックドリルの取組により、診断シートが７割の正答率となり、目標値を達成した。 ・区定着度調査では正答率が上昇した。 ・異学年交流活動を実施し、充実を図った。 ・地域、保護者と連携した教育活動を実施した。	課題	・さらなる教員の学習指導力と生活指導力の向上 ・開かれた教育活動の充実

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・春江学習スタンダードの策定 ・東京ベーシックドリル、ドリルパーク、学力定着度調査の結果を活用した既習事項の定着 ・民間補習教室と学校独自の補習教室の実施	・東京ベーシックドリル正答率が昨年度以上 ・学力定着度調査額の平均以上 ・児童アンケート「授業が分かりますか」が90%以上の肯定的評価											
	○読書科の更なる充	・学校応援団、司書と連携した読み聞かせの実施 ・探究的な学習における図書館の活用	児童アンケートの読書の項目で数値上昇											
体力向上	○個に応じた体力向上のための取組の実施・充実	「長縄ウイーク」「江戸川っ子なわ跳びチャレンジウイーク」「持久走ウイーク」の全校実施	取組カードを100%の児童が活用											
		体力テストの結果分析を生かし、体力の課題に応じた体育学習の工夫・改善	児童アンケートの運動項目で、80%以上の肯定的評価											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・校内委員会における個に応じた指導、支援の充実。巡回指導教員、特別支援専門員の活用	・校内委員会が月1回開催。巡回指導教員と管理職との定期的な打ち合わせ実施											
	○特別支援学級との交流及び共同学習の実施・充実	・児童の実態に応じた交流及び共同学習の実施	１教科以上で実施。特別支援学級と通常学級の交流の機会を前年度より増加											
	○インクルーシブ教育の推進	・教員の特別支援理解教育研修会の実施 。児童への特別支援理解教育の実施	教員向けの研修会と特別支援学級教員による児童への理解教育の実施											
不登校・いじめ対応の充実	○いじめ防止対策基本方針に基づく指導の実施	・いじめの未然防止、早期発見、早期対応の実施 ・いじめ防止に関する教員研修の実施	・児童、保護者からの相談対応100% ・児童アンケート90%以上肯定的評価											
	○不登校対策、対応の充実	・スクールカウンセラー関係教員との連携強化 ・エンカレッジルームの活用	・不登校、不登校傾向の児童の前年度比減少											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○事項の取組の積極的な発信	・学校ホームページを活用した教育活動の周知 ・学校、学年、保健、給食等毎月デジタル配信	・HP担当、学年による1～2週間に1回以上の配信。前年度より増加											
	○学校関係者評価の充実	・学校評議員会での意見交換 ・児童、保護者、評議員に向けて教育活動についてのアンケートの実施と公表	・学校評議員会を年3回実施 ・学校アンケートの実施											
特色ある教育の展開	○豊かな心の育成	・縦割り班活動の年間を通じての実施 ・柿の木プロジェクトの全校実施	・年間10回の縦割り班活動実施 ・児童アンケート「関わり」で80%以上の肯定的評価											
	○働き方改革の推進	・スクールサポートスタッフ、副校長補佐の活用	・月に1回の定時退勤日の退勤											